

Charm of music

中野さんのジュニア合唱団時代を振り返りながら、
音楽の魅力について語ってもらいました。

ジュニア合唱団 第16回定期演奏会



1 合唱団に入団!初のステージ!
2006年(小学2年生)
「この写真は、い〜と〜まきまきをして
いるのかな?はつきりとは覚えていま
せんが、人前で歌えてとにかく気持ち
良かったです」



2 お客様を意識したミュージカル
2010年(小学6年生)
「ミュージカルは歌だけでなく台詞や踊
りもあります。大変な分、お客様の拍手
と笑顔が嬉しいですね。ステージの持
つ“人を感動させる力”を実感します」



3 音楽は目でも楽しんでもらいたい
2013年(中学3年生)
「歌でも楽器でも、演奏している姿その
ものがエンターテインメント。だからこ
そ、全身全霊で楽しませたい。プロを目
指す今も大切にしている考え方です」



4 声を合わせて、心を合わせて
2016年(高校3年生)
「最終学年では団長を務めました。仲
間を大切にすること、地道に努力する
こと。人生に必要な多くを、音楽を通
して学びました」



5 歌声は文化も国境も超える
2015年(高校2年生)
「東アジア文化都市の交流で、中国・
青島へ。話す言葉や文化は違っても、
各国のみんなが音楽で心を通わせた
瞬間でした」



6 プロのオーケストラと生で共演!
2014年(高校1年生)
「東京交響楽団や宮川彬良さんと共
演してきました。プロが放つエネル
ギーや緊張感、音の迫力は、生のライ
ブでしか味わえない特別なものです」

チケット購入方法は**3つ!**どれも手続きカンタンです!



りゅーとぴあオンライン・チケット
<https://www.ryutopia.or.jp>
※りゅーとぴあHPからアクセスしてください。



りゅーとぴあ2F
インフォメーションカウンター



りゅーとぴあチケット専用ダイヤル
025-224-5521
※11:00~19:00/休館日除く

ご来場
お待ちしております!!



第115回 | 新潟定期演奏会
東京交響楽団

2019年9月15日(日) 5:00p.m.
りゅーとぴあ 新潟市芸術文化会館 コンサートホール

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第1番 ハ短調 op.15
ベートーヴェン:カンタータ「静かな海と楽しい航海」op.112
ブラームス:交響曲 第3番 ヘ長調 op.90

【チケット料金】S席7,500円 A席6,000円 B席4,500円 C席3,000円 D席2,000円
U25シート1,500円(税込) / 対象:25歳以下(未就学児を除く)
※U25シートはコンサート当日空席がある場合に限り15:00よりインフォメーションで販売
※購入時に年齢のわかるものを提示 ※席種及び座席番号の指定不可

【チケット取扱い】りゅーとぴあ(窓口・電話・オンライン)
りゅーとぴあチケット専用ダイヤル: **025-224-5521** (11:00~19:00/休館日除く)
りゅーとぴあオンライン・チケット: <http://www.ryutopia.or.jp/>
新潟伊勢丹/セブンチケット: <http://7ticket.jp/>
※りゅーとぴあ以外では取り扱いのない席種もございますので事前にご確認ください。

【主催】公益財団法人新潟市芸術文化振興財団

【お問い合わせ】りゅーとぴあチケット専用ダイヤル: **025-224-5521** (11:00~19:00/休館日除く)

指揮&ピアノ:ライアン・ウィグレスワース
Conductor&Piano=Ryan Wigglesworth
© Benjamin Ealovega

日々を愛する大人たち

RYUTOPiAN

クラシック音楽のコンサートや、劇場でのお芝居など、舞台芸術を自然体で楽しんでいる人々があります。
自由に、感じるままに。そこで得た感動を、明日への力に変えていく。そんな大人たちをご紹介します。



今回のヒト 中野 太一さん

ジュニア合唱団出身で東京音大に進学。音楽の道を進む
中野さんにとって、りゅーとぴあは今も特別な場所です。

成長してりゅーとぴあに戻ってきたい

「新潟市ジュニア合唱団時代、作曲家の宮川彬良さんと
出会い、宮川さんのコンサートにも参加させてもらいま
した。プロの仕事を間近で体験できたことが、音楽の世界
に深く入るきっかけとなりました。今、声楽を学びに東京
音楽大学へ進学し、首都圏のさまざまなホールにも足を
運ぶなかで、あらためて「りゅーとぴあはいいな」と感じて
います。コンサートホールの響きや雰囲気、僕にとっては
神聖な場所なんです。CDやインターネットでもクラシック
音楽は聴けますが、やはり生のオーケストラは素晴らしい
ものです。指揮者や音楽家たちの動き、体に突き刺さる
演奏、そして聴く人の歓声や拍手。あの感動は代えがた
い価値があります。りゅーとぴあは僕を育ててくれたホー
ル。大好きな場所です。成長してりゅーとぴあのステージ
に戻ってくることで、恩返しができたらと思っています」

東京交響楽団 第115回 新潟定期演奏会

2019年 9月15日(日) 5:00 p.m. No.115 Sun. 15th
September 2019, 5:00 p.m.

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

秋の夕べに、オーケストラを味わい尽くす

前半に若きベートーヴェンの勢を感じるピアノ協奏曲を、後半に晩年のブラームスの第3番を配したプログラム。未来と過去、2つの視線が交錯するコンサート。



ライアン・ウィグルスワース
(指揮&ピアノ)

難しいなんてものじゃない
“弾き振り”に大注目

ピアニストの内田光子さんをして「難しいなんてものじゃない」と言わしめた弾き振り。今回、演奏だけでも困難な曲を指揮するのは「若い世代の最も才能豊かな作曲家=指揮者」と評されるウィグルスワースです。オケとスコアを完全に掌握し、音楽解釈の深みに達した彼が、いかに芳醇な演奏を聴かせてくれるのか?あなたの目と耳でお確かめください。

にいがた東響
コーラスの歌声は
カンタータで!



協奏曲 & 合唱 &
交響曲を
一度に楽しもう



TOKYO
SYMPHONY
ORCHESTRA
Jonathan Nott, Music Director

Ludwig van Beethoven

01

24歳のベートーヴェンによる
“最初の傑作”

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第1番 ハ長調 op.15
ベートーヴェンのピアノ協奏曲といえば、第5番「皇帝」などがある。ではこの第1番は?ハイドンに本格的に作曲を学ぶべくウィーンに引越してきた、若きベートーヴェンによる快作です。モーツァルトにも似た爽やかさ、愉快さ、転がるフレーズ。無条件で音楽を楽しみたいとき、このアンサンブルが耳と胸を満タンにしてくれます。3楽章、約35分。



02

生で聴いたことを自慢できる
“秘曲中の秘曲”

ベートーヴェン:カンタータ「静かな海と楽しい航海」 op.112
ベートーヴェンと同じ時代を生きたゲーテの詩、「海上の風」と「成功した航海」を、音楽で表現した曲です。カンタータとは伴奏つきの声楽作品のこと。東響の正指揮者・飯森範親さんが「とにかく素晴らしい」と絶賛した、にいがた東響コーラスが歌声を響かせます。ちなみにこの曲、演奏されるのが極めて稀。もう二度と生で聴けないかも?約8分。

プロオケとの共演は
むちゃくちゃ
緊張するんですよ!



03

円熟を迎えた
ブラームスの“実りの時”

ブラームス:交響曲 第3番 ヘ長調 op.90
ベートーヴェンの後継者ともいわれるブラームス。この曲の初演を指揮した名匠ハンス・リヒターは「ブラームスの『英雄』だ」と表現しました。雄々しく闘争をイメージさせる部分もありますが、根底に流れるのは叙情や憂愁。作曲当時50歳だったブラームスが、26歳のアルト歌手と恋に落ち、曲に恋愛感情が織り込まれているとか。4楽章、約40分。

※演奏時間は目安です。実際とは異なります。



1900年頃のギッティンゲン

哀愁たっぷりの3楽章は
映画「さよならをもう一度」の
挿入曲になりました



ブラームス、50歳の恋

1883年の夏、ブラームスはライン川に面した美しい保養地ヴィースバーデンで過ごします。彼が恋したアルト歌手、ヘルミーネ・シュピースが暮らした町で、交響曲第3番はここで書かれました。中でも3楽章は、どこか個人的な郷愁さえ感じられます。内面を包み隠すのが常の彼が、最も自分を吐露した交響曲となりました。

